

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第152号

平成31年2月10日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

宇宙の謎・魅力に迫る高校生講座

この協議会ニュースの124号でも紹介しましたが、「高校生天文講座」という全11回の講座を事務局が主催しています。今年度は6月2日(土)に第1回目を開講し、最終回(第11回)の2月3日(日)には、約8か月にわたり学んできたことの振り返り発表会と修了式が行われました。



高校生天文講座

月齢9の月(H30.6.24、青少年センター屋上にて事務局撮影)→

第1回「太陽黒点の観測」6/2(土)	第2回「施設見学」6/9(土)	第4回「天体デジタル撮影実習」7/25(水)
<p>まず天体望遠鏡の組立て方や取扱い方法を学び、続いて、組立てた望遠鏡で太陽の黒点やプロミネンスの観測をしました。</p>	<p>「かわさき宙と緑の科学館」と「国立天文台」を訪問し、最新型望遠鏡や日本最大の屈折式望遠鏡(長さ11m)を見学しました。</p>	<p>月や惑星をデジタルカメラやビデオカメラで撮影し、その画像をパソコンに取り込む実習を行いました。</p>
第5回「天体観測法実習」8/10(金)	第6回「天体自動導入法実習」9/8(土)	第11回「成果発表会」2/3(日)
<p>デジタルカメラやビデオカメラで撮影した画像をパソコンソフトを用いて画像処理を行い鮮明な画像に仕上げました。</p>	<p>パソコンを用いて天体を追尾し自動導入する方法を学び、冷却 CCD カメラの操作実習を行いました。</p>	<p>最終回には、この講座で学んだ内容等を各自がプレゼンテーションソフトを使って発表しました。講評後に、修了証が授与されました。</p>

参加した高校生のアンケートから

1年間受講してよかったこと

- 興味が深まるだけでなく、画像編集の知識や貴重な機械の使い方を学ぶことができた。
- 冷却CCDカメラに触れられたのが良かった。
- 部活では使えない機材やソフトを使わせていただいた。
- 他校との交流ができた。
- 多くの知識を身に付け、望遠鏡やPCを実際に使い、良い経験になりました。
- 画像処理や天文に関するソフトなど、知識が増えた。
- 実際に都会の空で多くの星を見て、観測できたこと。
- あまり知らなかった天体の知識を得ることができた。
- 望遠鏡の使い方を知り、実際に使うことができた。
- 国立天文台に行けた。

高校生天文講座の改良した方がいい点や要望事項

- 国立天文台に行ったりする特別な行事を増やすと良いと思います。
 - 屋上での観測が受身になってしまったことが多かったので、準備・片付けのみならず、設置や星を探すところから生徒にやらせても良いと思った。
 - 初めの方は、わけが分からず望遠鏡を使ったり、画像処理をしたりしていたので、もう少し時間をかけてほしい。
- #### 発表会で気がついたこと
- 自分以外の視点でまとめをした人の話を聞いて、学びが深まりました。
 - 様々なバワポのレイアウトが見ることができた。
 - 画像がキレイで、どの人も皆、楽しそうだった。
 - 前の方にやっていることは、結構忘れてしまっている。
 - 人によって見る観点が違うところ。

青少年センター 子どもフェスティバル

1月27日(日)に、県立青少年センターにおいて「子どもフェスティバル 子ども会大会」が開催されました。ステージ発表、工作、折り紙、紙芝居などの出展があり、さらに駄菓子、おにぎり、うどん、タイ焼き、フランクフルト、ポップコーンなどの食べ物屋の出展もあり、これを楽しむ子どもや親子連れで1日中にぎわいました。(来場者は約700名)



(写真上↑) この日は朝からよく晴れて気持ちのいい1日でした。とは言え1月ですので、外で出店したタイ焼き屋とうどん屋はちょっと寒かったかも。



(写真右→) 館内は1日中、親子連れでにぎわいました。写真の右側の風船のトンネルは、前日に青少年センター職員とボランティア高校生が製作しました。



この「子どもフェスティバル」は、青少年センター主催、神奈川県子ども会連絡協議会共催で、子ども会などによる工作・模擬店・ステージ発表などで楽しんでもらうイベントです。今年は22団体のブース出展と8団体のステージ発表がありました。本協議会の会員の皆さんに出展していただいて8月に開催した「科学の祭典」のようなお祭りです。(※ 科学部が事務局を務めている「子どもサイエンスフェスティバル」とは別ものです。)

おもしろ科学実験ショー	ロボットダンス、ロボット操縦体験	巨大空気砲を発射せよ!
おもしろ実験・科学工作指導者セミナーの修了生による科学実験ショーです。セミナーで鍛えたパフォーマンスで楽しい実験ショーを披露しました。	当協議会の会員のMANOI企画さんによるロボットダンスショーとロボットの操縦体験です。ロボットの柔軟な動きに子どもたちは釘付けでした。	科学部陣川作の日本最大級(?)の空気砲はホールイベントのトリでした。子ども達に手伝ってもらって発射すると、大きな輪となり客席後方へ移動していきました。大人も感動です!
		
		



事務局から



ここ数日の中で、神奈川県内でも雪がちらつく日がありました。左の写真は、事務局が昨年10月に移転した8階建てビルの屋上から撮影した丹沢山系です(2月1日、事務局撮影)。雪がちょうどある高度以上の山々に降った様子がわかります。一番高く写っているのが伊勢原市の大山です。丹沢山系は神奈川県面積の約6分の1を占めます。

インフルエンザも流行しております。会員の皆様、ご自愛くださいませ。

(事務局: 村上、高相、山田、宮城)